

ひまわり

vol.11

平成19年1月26日発行

地域医療連携室
だより

宮崎社会保険病院

病院長 石川 正

宮崎市大坪西1-2-1

TEL.0985-51-7575

FAX.0985-53-8821

新年明けましておめでとうございます。

先生方におかれましては、日ごろから宮崎社会保険病院をご利用いただき厚く御礼申し上げます。平成16年4月に地域医療連携室が開設され、本年度で4年目をむかえます。「地域医療機関の先生方にご利用いただける開かれた地域医療連携室」を目指して、紹介患者様の受付、入院・手術・退院時のFAX、入院中の経過を紹介医療機関に報告する中間報告の作成とFAX、症例検討会の開催や紹介医療機関への挨拶回りなどを行ってまいりました。また、地域医療機関との連携を深めるために、数年前より逆紹介の推進も行っていました。先生方との深い連携のお陰をもちまして、平成18年11月28日に「地域医療支援病院」の認定を受けることができました。先生方には、厚く御礼申し上げます。今後は、地域医療支援病院の名前に恥じない病院として、より一層地域医療機関との連携を深めていきたいと考えておりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。最後に先生方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。

平成19年元旦

地域医療連携室長(副院長) 白尾 一定

2007.01.01

ご紹介します！

社会保険病院の診療科



今回は、検査部です。

宮崎社会保険病院検査部をご紹介します。

宮崎社会保険病院は平成18年11月28日に地域医療支援病院の承認を得ました。検査部は、地域の皆様や医療機関から信頼される施設の一員として相応しい部署であるために、正確な検査結果の提供、迅速な結果報告、付加価値のある結果報告、専門的な知識や技術の習得を含む資質の向上に努めて参りました。今後も、宮崎社会保険病院が地域の皆様や医療機関から信頼され続ける施設であるように、更なる努力を重ねていきたいと考えています。

検査部には現在臨床検査技師11名（常勤10名、半日パート1名）が勤務しています。スムーズな患者さんの受け入れに必要な検査や緊急検査についてはスタッフ全員が行え、昼夜を問わず24時間対応が可能です。専門的な認定資格として、超音波検査士（腹部・循環器）1名、細胞検査士3名（内、国際認定資格あり2名）、NST専門臨床検査技師1名等を取得しており、質の高い検査結果の提供やチーム医療への貢献に努めています。

また、病理解剖およびCPC（病理解剖報告会）の実施、日本臨床細胞学会活動への積極的な参加により、当院は日本病理学会登録施設、日本臨床細胞学会施設認定を取得しています。

次に検査部の業務をご紹介します。

〈検査部業務〉

	項目	内容
実施検査	検体検査	末梢血液検査、凝固検査、生化学検査、腫瘍マーカー検査、ホルモン検査、糖関連検査 感染症検査、血液ガス、一般検査、骨髄検査、尿検査、便検査
	生理検査	心電図検査、自律神経機能検査、トレッドミル検査、ホルター心電図検査、肺機能検査
	超音波検査	腹部エコー、心臓エコー、下肢血管エコー、頸部血管エコー、乳腺、甲状腺
	病理細胞診	病理組織診断、術中迅速組織診断、細胞診断、術中迅速細胞診断
	細菌検査	細菌塗抹・培養、結核菌塗抹・培養、真菌検査
	輸血検査	血液型、不規則抗体検査、交差試験
その他	外来患者採血、心臓カテーテル、NST、病理解剖	

至急として依頼された検体検査については、末梢血液検査、凝固検査、糖関連検査、尿検査は検体提出から30分以内、生化学検査、腫瘍マーカー検査、ホルモン検査、感染症検査は1時間以内での報告を実施しています。また、患者さんの状態変化をいち早く医師に報告することが、安全な医療の提供に繋がるものとの考えから、至急、至急でないに関わらず、早急に連絡が必要と判断した場合は電話連絡を行っています。

当院ではセンチネルリンパ節の概念を取り入れた縮小手術を行っており、また、開胸開腹時の体腔洗浄細胞診が陽性（癌細胞を認める）の場合は術中に抗癌剤による治療を行っています。したがって、術中迅速病理診断や術中迅速細胞診断は、術前確定診断がつかなかった腫瘍性病変の診断のほか、癌の浸潤・転移を術中に判断する上で、必要不可欠な検査となっています。

診療報酬改定のたびに検体検査の点数は下げられ、依頼された検査を実施するだけでは、施設内にある検査部としては不十分であることは言うまでもありません。看護局、地域医療連携室などの事務局、その他医療技術部門との連携を深め、安全かつ質の高い医療が提供できるように、チーム医療、医療安全管理、院内感染対策などに引き続き積極的に取り組んでいかなければならないと考えます。

最後になりますが、私どもは地域の医療機関の皆様からのご要望やご質問に対しましても出来る限り対応致したいと思っています。検体採取時の注意や検査に関する留意点など検査に関する事で何かありましたら、宮崎社会保険病院検査部までご連絡ください。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

検査部副技師長 花牟禮富美雄

地域医療を 支える



院長 小村 幹夫

小村 医院

〒889-1702
宮崎市田野町乙7213番地
TEL.0985-86-0011
FAX.0985-86-2102

宮崎社会保険病院をはじめ、地域の医療機関の方々には日頃よりお世話になり感謝しております。当院は昭和3年に田野町の現在地に開院し、私で3代目になる一般病床19床をもつ有床診療所です。診療科目は内科・胃腸科・外科・リハビリテーション科です。先代の掲げた地域に根ざした医療をモットーに、在宅療養支援診療所として在宅診療にも力を入れ始めたところです。

私は九州大学を卒業後、福岡市を中心に臨床および研究に勤しんで参りましたが、平成7年に帰宮致しました。中学生までは宮崎で生活しておりましたが、それ以降は宮崎を離れた為、帰ってきた当初は各科の医師に知り合いも少なくとても不安でした。

平成17年6月より、循環器内科が専門の田中慎一先生を常勤に迎え、医師2人体制で診療を行っております。患者さんのニーズに応え、平日の午後は医師1名が訪問診療にあたっております。私も田中医師も出身大学が宮崎ではないため、当院では手に負えない患者さんを何処に紹介したら良いかわからず、戸惑うような事もありましたが、最近では宮崎市立田野病院・宮崎社会保険病院などとの病診連携をとらせてもらい、心強いかぎりです。

地域の特性なのか、診療科目以外の患者さんや重症度の高い患者さんなど、有床診療所の守備範囲を越えた症例も多く、その度に宮崎社会保険病院各科の先生方にご無理を言って受け入れていただいている次第です。患者さんを紹介後は全症例の経過報告を逐一頂き、その方のご家族とのコミュニケーションを図る上でも、また紹介患者さんが当院に戻られた際に医療の連続性が得られ、病診連携をしていただいた有り難さを実感しております。

平成18年に晴れて宮崎市の仲間入りをした田野町ですが、若者の新たな流入もなく、超高齢化社会を迎えています。在宅医療の重要性をひしひしと感じております。そのためにも、病院との連携だけにとどまらず、有床無床を問わず、より多くの診療所や各種介護施設との新たな地域医療連携システムの拡大充実が望まれる時代になってきたような気がします。

宮崎社会保険病院の地域医療連携システムの、今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。

症例検討会へどうぞ

11月の実施状況

11月 (11月16日実施)

- 当院における心臓リハビリテーションについて
- 2006年前期における肺症例について
- 院内紹介 内視鏡下胃瘻造設 (PEG) について
- 治療に苦渋した pyocele の症例
- 上腕骨骨折の保存的療法

今後の予定

2・3月

2月15日(木)

3月22日(木)

診療科	診療	曜日	月	火	水	木	金
内科	初診		渡邊 玲子	松本 充峰	松尾 剛志	早稲田文子	平山 直輝
			稲垣 浩子	松尾 剛志	高木 信雄	平山 直輝	菊池 正雄
	再診		平山 直輝	石川 正	石川 正	石川 正	松尾 剛志
			高木 信雄	稲垣 浩子	渡邊 玲子	渡邊 玲子	稲垣 浩子
			松本 充峰	平山 直輝	菊池 正雄	菊池 正雄	松本 充峰
			早稲田文子	今村 卓郎	北村 和雄		渡邊 玲子
	特殊再来 (午後)			高木 信雄	高木 信雄	稲垣 浩子	
外科	初診・再診		白尾 一定	貴島 文雄	白尾 一定	秦 洋一	貴島 文雄
	乳腺・甲状腺外来 (午前)						白尾 一定
	ストーマ外来 (午後)		貴島 文雄 (第1、3月曜)				
	NST外来 (午後)				白尾 一定 (第3水曜は除く)		
形成外科	初診・再診		大安 剛裕	伊木 秀郎	大安 剛裕	高橋 国宏	大安 剛裕
			三柘 律子	三柘 律子	高橋 国宏	三柘 律子	伊木 秀郎
整形外科	初診		輪 番 制	本部 浩一	松元 征徳	益山 松三	三橋 龍馬
	再診		松元 征徳	松元 征徳	本部 浩一	松元 征徳	本部 浩一
			本部 浩一	益山 松三		三橋 龍馬	益山 松三
放射線科	CT/MRI/RI	杜若 陽祐 ・ 結城 康弘 ・ 宮田 裕子 ・ 伊藤 泰教					
	血管造影	結城 康弘					
	内視鏡	伊藤 泰教					
プライマリーケア (午後)			菊池 正雄 (早稲田文子)	稲垣 浩子 (平山 直輝)	渡邊 玲子 (松本 充峰)	松本 充峰 (渡邊 玲子)	早稲田文子 (菊池 正雄)

*都合により変更になる場合があります

受付時間 8:30~11:00

(但し、急患・紹介患者はこの限りではありません)

編集 後記

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も充実した連携室を目指し尽力していきたく思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

今回の表紙は日向市美々津町のとある展望台から今年の初日を撮影したものです。私の予定(勝手な想像)ではもう少し太陽が大きいはずだったのですが……手持ちのデジカメの限界を感じましたが、次回もお楽しみに。

さてもうすぐ節分ですが、節分は年に4回あり、立春、立夏、立秋、立冬の前日のことを指すというのはご存知でしたか。また、もともとは平安時代初期より行われていた鬼祓いの儀式だったようです。日本の行事も紐解いていくとなかなか面白いですね。

地域医療連携室 立山 奈月

ご意見・お問い合わせ